

ブロッサム

- ライト -

no.6

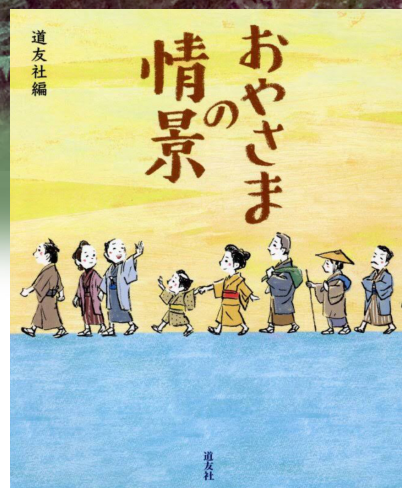
- 1, 教祖のひながたを学ぼう
- 2, step by step
- 3, ちょこっとぎやらりい。

旭日女子青年

教祖のひながたを学ぼう

『おやさまの情景』 紹介

子供が親のために p.7



私はアトピー性皮膚炎というアレルギーをもって生まれてきました。赤ちゃんの頃は、皮膚がかゆくてしょうがないため泣きやまず、見てもらえない程だったそうです。両親をはじめ周りの人が十二下りをつとめ、おさづけを取り次ぎ、「どうか神様この子をたすけてください」とお願いしていただきました。

今ではアレルギーがあると話さないとわからないほどご守護をいただきました。汗をたくさんかく夏や乾燥の冬には症状が出ることもあります。けれどもこれは、周りの人のお願いによって、また神様の御守護によってたすけていただいたことを決して忘れてはいけないよという神様からのメッセージだと思っています。

この「子供が親のために」も、母親のたすかりを願い、息子さんが教祖のもとへ足を運ぶお話です。

私は逸話篇のお話は陽気ぐらしへのヒントがあると思っています。『おやさまの情景』は絵も入っているので読みやすいと思います。是非読んでみてください。これからも「感謝 慎み たすけあい」の陽気ぐらしへのキーワードを忘れず、たすけていただいたこの身体をひとだすけのために使わせていただきたいと思います。

Step by step

asahijoshiseinen

教祖のひながた

教祖～おやさま～

「教祖」のお名前は「中山みき様」と申し上げます。
天保9年10月26日、御年41歳の時、親神様は中山みき様を「月日のやしろ」とお定めになりました。私たちは教祖から、親神様が私たち人間の親であるということ、どういう思いで人間と世界を創められたのかを教えて頂きました。教祖は五十年の長きにわたって、ご自分の行いを通して心一つで味わえる陽気ぐらしの手本をお示し下さいました。この道すがらを「ひながた」と申し上げます。そして、明治20年陰暦正月26日、御年90歳の時、百十五歳定命を二十五年縮めて、お姿をおかくしになりました。今は教祖のお姿は見えませんが、永遠に元のぢばに留まり、存命のままいつも私たち人間をお見守り下さり、お導き下さっています。

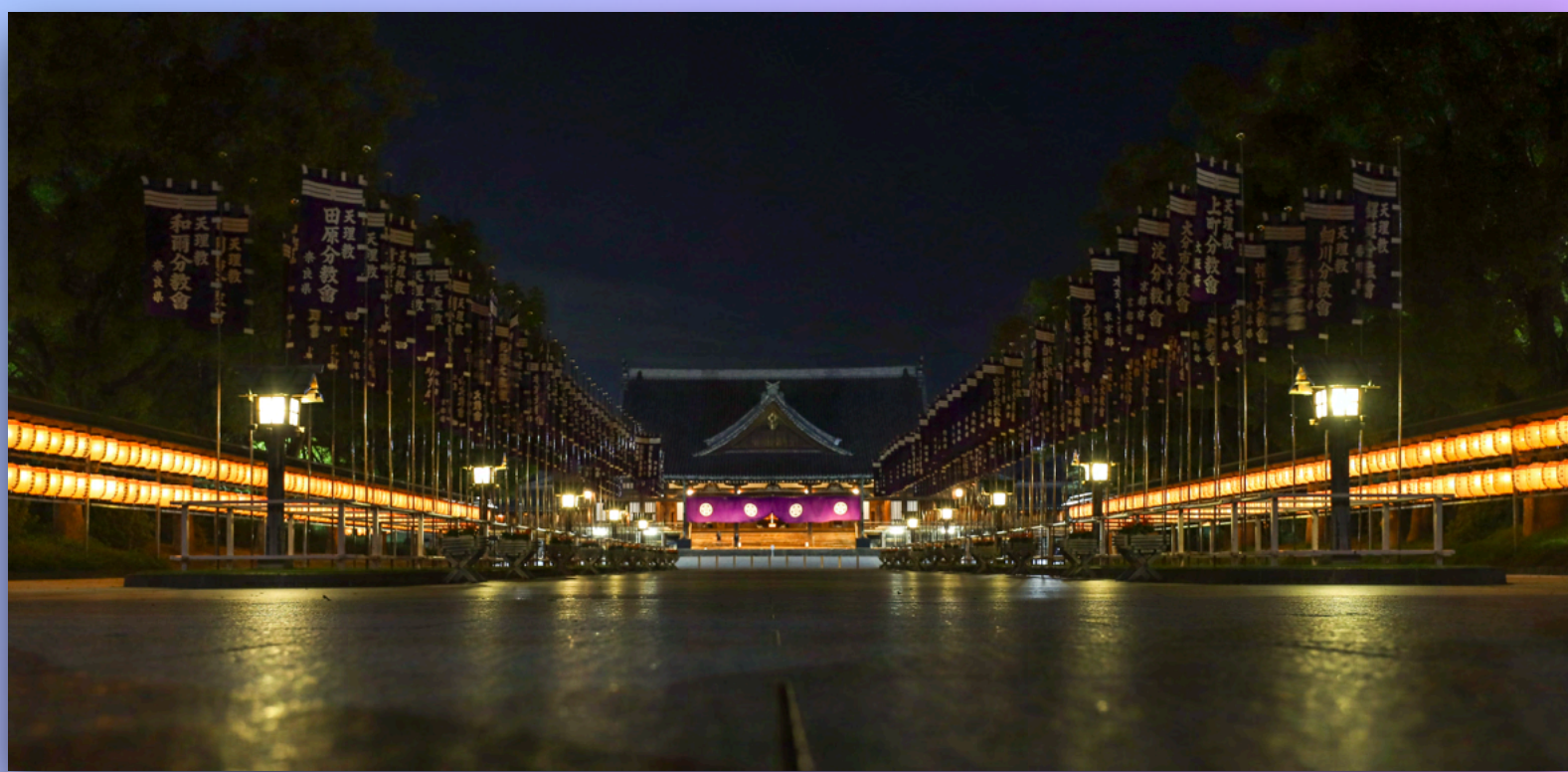
「ひながた」をたどるということ

教祖の歩まれた「ひながた」の道は、親神様の思召を信じて通る私たちのお手本です。ひながたの道は、親神様のお望み下さる陽気ぐらしにつながる道です。知識として学ぶだけでなく、毎日の生活の中で生かしていくことが、この道の信仰であり、ひながたをたどるということです。

自分の進む道に迷った時、喜べないことがあって自分の行動や心遣いを振り返ってみる時には、教祖ならどうなさるだろう、どんな道を選んだら親神様のお心に適うのだろうか、と考えてみて下さい。そのヒントが教祖のひながたにあります。

『稿本天理教教祖伝逸話篇』は、教祖のご日常にあった出来事を集めており、教祖のひながたを分かりやすく学ぶことができます。

ちょこっとぎやらりい。



カメラマン:sekisanphoto

みなさんこんにちは。ちょこっとぎやらりい。のお時間です！

連日これは秋なの??10月なの??というようなあっつい日が続くと思ったら、

もう秋をすっ飛ばして冬?なんて寒さが続いています。

足先冷やしながらかお過ごしのみなさん。お疲れ様です^^

今月は御本部秋季大祭が行われました。

提灯や旗がゆらゆらと灯っている景色は夜に見ると絶景です✨

みなさん一度夜の本部へ参拝というのはどうでしょうか？

旭日の提灯



それでは、see you next time...